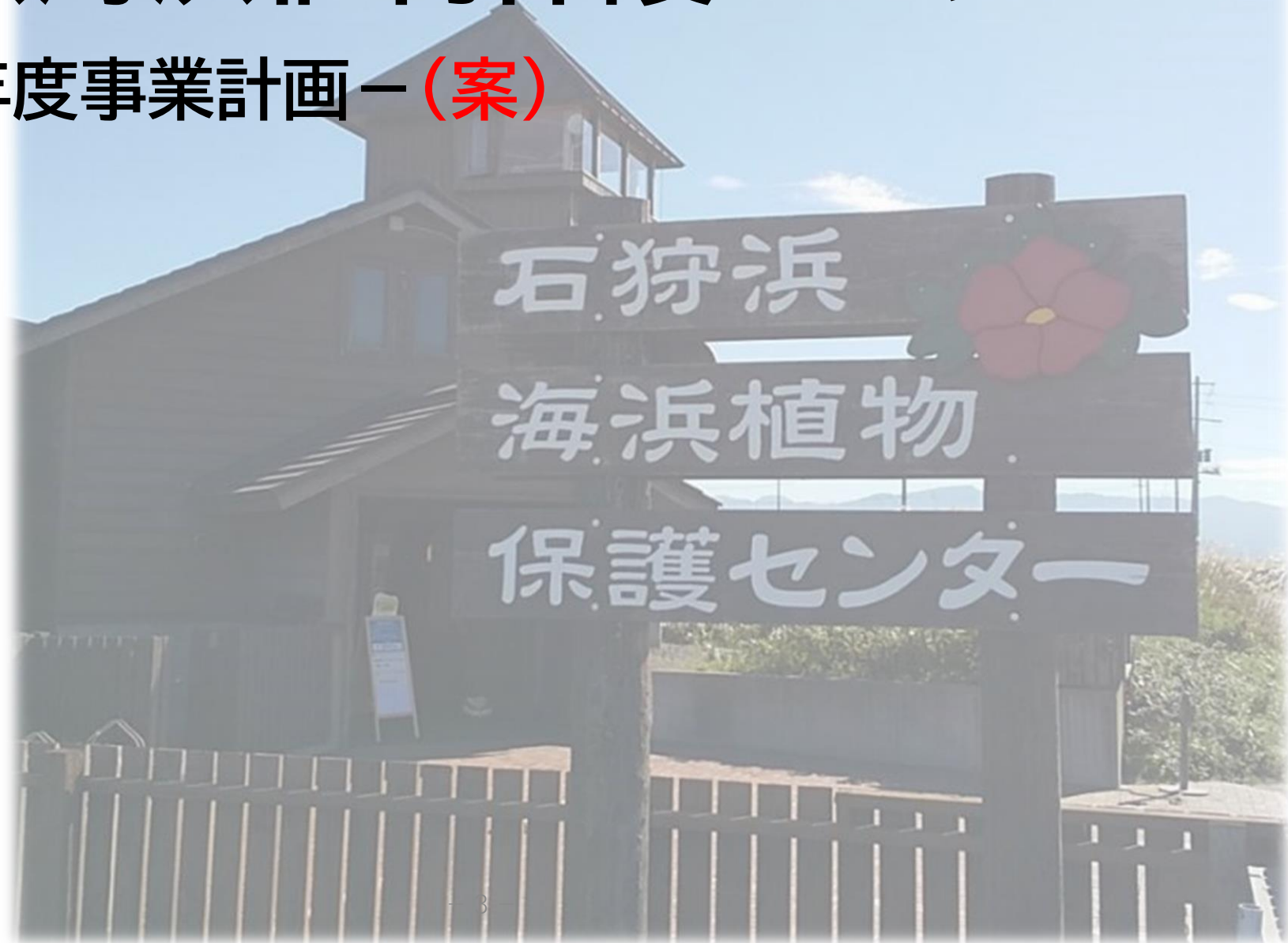


石狩浜海浜植物保護センター

－令和5年度事業計画－(案)



目次

- 1. 石狩浜海浜植物保護センター事業とアクションプラン策定の背景 ……1
- 2. 石狩浜海浜植物保護センター ……2
- 3. 令和5年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画 ……3
- 4. 令和5年度事業概要について ……4
- 5. 石狩浜海浜植物保護センター運営体制 ……18



1. 石狩海浜植物保護センター事業とアクションプラン策定の背景

生物多様性条約

生物多様性基本法
(生物多様性国家戦略)

環境基本法
環境関連法

北海道生物の多様性の
保全等に関する条例

石狩市環境基本条例

石狩市環境基本計画
豊かな自然と多様な生物、
そして人とが共生するまち

いしかり
生きものかけはしプラン
(生物多様性地域戦略)

石狩浜
アクションプラン

アカモズ
アクションプラン

石狩海浜植物保護センター事業

○石狩浜アクションプランについて

世界的な生物多様性の損失が指摘されている中、石狩浜においても例外ではなく、生物多様性が失われている。今一度問題を見直し、生物多様性の損失を食い止める保全施策を有識者の意見を踏まえて、石狩浜の状況に合わせて検討する必要があることから、いしかり生きものかけはしプラン(生物多様性地域戦略)の中に、石狩浜の自然に特化した石狩浜アクションプランを策定し保全を進める。

【保護センター設立当初の目的】

- ▶減少した海浜植物を増やす
- ▶過度なレジャー利用から海浜植物を守る

【新たな課題】

- ▶砂浜から海岸林の連続した自然環境の保全
(外来種、内陸化、施設建設等改変等による海浜生態系の劣化)
- ▶局所的に残る環境に依存する種の保全
- ▶保護地区化による保全状況の把握(データの蓄積)
- ▶植生遷移による海浜植物の割合減少
- ▶自然とのふれあいの機会減少

2. 石狩浜海浜植物保護センター



【設計当初】

石狩浜の砂丘、海岸草原や天然生海岸林にある植物の保護、快適な自然環境を創造するための拠点として設置。貴重な財産である恵まれた環境を保全してゆくための方針を確立するとともに、ライフスタイルの多様化に伴う幅広い自然市民ニーズにこたえてゆくための自然とのふれあいの場の創出と保護、保全、緑化の推進を図る必要性を求められている。【引用：平成9年度(仮)海浜植物保護センター基本・実施設計業務委託＝業務報告書＝】

【コンセプト】

展示室・観察園・再生園の3つに大きく分かれており、全て連動して観察できるように工夫している。展示室は、石狩浜の成り立ちや、保護の歩み、海浜植物の基情報を常設している。その他、観察園で見られる海浜植物の開花情報を更新している。観察園は、再現区として石狩浜の代表的な海から海岸林までの植生遷移を再現をしている。全体として、ハマナス群落を軸に、自生地に設定した見本区をもとに植生管理をしている。その他、種子の保存・苗作りなども並行し、育成手法の蓄積をしている。再生園は、ハマナスが彩る景観の保全と、ハマナスを通じた地域の魅力発信に向けて、ハマナス群落の再生手法の検証と、ハマナスの花弁や果実の持続可能な利活用を進めている。

石狩市石狩浜海浜植物保護センター条例 (設置)

第1条 本市は、石狩浜に自生する海浜植物の保護等を行い、及び植物を始めとする自然環境の保全に関する意識の普及啓発を図ることにより、自然豊かな都市環境の形成に寄与するため、石狩浜海浜植物保護センター(以下「センター」という。)を石狩市弁天町48番地1に設置する。

(事業)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 海浜植物の調査、保護及び増殖に関すること。
- (2) 石狩浜の自然環境の保全に関すること。
- (3) 前2号に掲げる事項に関する資料の展示及び学習の指導に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置目的を達成するために必要な事業

2 センターは、前項の事業を行うに当たっては、海浜植物の保護等を目的として活動する団体との連携を保つものとする。

3. 令和5年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画

事業方針		事業概要	環境基本計画方針
I	情報・学び・体験の場として 施設機能の充実	【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上
II	データに基づく保全対策	【調査・研究・保全事業】 情報発信・体験学習・観察園・再生園の整備に必要な自然情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。	生物多様性の保全
III	自然資源の適正管理と適正利用	【自然資源の保全・活用】 海浜植物等保護地区における海浜植物や地形の状況把握、過度なレジャー利用に対する注意喚起、本来の保護地区としての利活用に関する維持管理等を実施する。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上
IV	石狩浜の自然に対する シビックプライド浸透のための 基盤づくり	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、自然とのふれあいの創出や、多様な主体が保全に関わる基盤を構築する。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上 様々な主体との連携・協働

○第3次石狩市環境基本計画(令和3年～令和22年)

【自然環境分野】 生物多様性

豊かな自然と多様な生物、そして人とが共生するまち

施策方針	取り組み方針
I 生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全 ・希少種の保全、外来種の拡大防止の対策 ・他機関や市民との連携、種ごとに必要なモニタリングや対策の推進
II 自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、減災機能を活用するEco-DRRの推進 ・野生鳥獣の生態を他機関と情報共有し、管理と調和する対策の検討 ・市民が自然を学び、楽しめる自然情報の普及啓発

【連携・協働分野】 教育・パートナーシップ

全ての人が環境を学び、考え、行動することで、
環境施策に「協働」で取り組んでいるまち

施策方針	取り組み方針
I 環境教育の推進、 環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育と環境学習の推進 ・環境情報の収集・発信 ・環境活動の担い手などの人材育成
II 様々な主体との 連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換・交流の場づくり ・協働体制の整備(活動団体への支援) ・他自治体、民間等の関係団体(機関)との新たな環境産業の創出

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

I	情報・学び・体験の場として 施設機能の充実	【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。	自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上
---	--------------------------	---	---------------------------

①展示室

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.常設展示の維持管理	石狩浜の成り立ち、海浜植物の生態的な特徴、石狩浜の生態系といった石狩浜の自然環境保全の基礎となる情報について展示をすることで、石狩浜の基礎的な情報を知ってもらい次の興味に繋げる。	開館中については、軽微な修繕等を継続し、来館者が見やすい施設づくりを心掛ける。 冬季閉館中に、常設展の内容について検討を進める。★	・補修、修繕の有無を点検(日常業務) ・内容の見直し(冬季閉館中)
2.フィールドマップの管理	石狩浜全体と周辺の自然に関する情報の発信。	石狩浜の保全の取り組みを、おもなエリアと対応させて紹介する★	・場所の設定、展示
3.観察園開花情報の発信	観察園の開花状況や、最新の様子 の発信、観察園の日常を記録し、長期的な自然情報の記録とする。	観察園の情報更新による海浜植物生育状況の発信と、合わせて観察園での実物観察を促す。	・観察園の情報の日常的な更新 ・普及員による観察園への声かけ

★…委託事業者と実施

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

I	<p>情報・学び・体験の場として 施設機能の充実</p>	<p>【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。</p>	<p>自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上</p>
---	----------------------------------	---	-----------------------------------

②観察園

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
<p>1.園路およびサインの 整備・維持管理</p>	<p>来館者が安全・安心な環境のもと、快適に園内散策ができるように整備をする。</p>	<p>観察に適した園路の維持管理。 必要に応じた木道等の修繕。 植物名等のサイン表示。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務内で点検・管理 ・季節に応じたサインの追加、更新 ・害虫等の防除
<p>2.ゾーンの目的に沿った 植生維持管理</p>	<p>①来館者に対し、石狩浜の見本的な植生を観察できる場とする。 ②アクティブラーニングを主として、海浜植物の生態的な特徴を展示と連動して学べるように管理する。 ③植生維持に関する生育情報を蓄積し、海浜植物の保全に活用する。</p>	<p>【湿地ゾーン】★ 令和4年度に整備した水環境の改善後の経過観察と必要に応じた補植。苗づくり。展示との連動。 【再現区】★ 带状構造に沿った現状植生の維持管理。半安定帯の維持管理について知見を蓄積。 【ほりほりゾーン】★ 環境学習、夏休み自由課題等での利用促進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外来種等の抜き取り ・生育種数の調整 ・苗の育成や移植後のモニタリング ・環境学習等での利用促進 ・展示内容の見直し

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

I	<p>情報・学び・体験の場として 施設機能の充実</p>	<p>【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。</p>	<p>自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上</p>
---	----------------------------------	---	--

③ハマナス再生園

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
<p>利活用のための ハマナス再生園の 整備・維持管理</p>	<p>多様な主体の参加による植生維持 管理を進め、活用する。</p>	<p>継続した維持管理と、環境学習等 での利用を増やす。 維持管理に参加する市民を増やす。 ★</p>	<p>・園路整備、外来種・ハマナス被圧 種除去等、ハマナス群落の維持管 理(委託業務) ・ハマナスHealthyタイムの実施 (月1回程度:委託業務)</p>

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

I	<p>情報・学び・体験の場として 施設機能の充実</p>	<p>【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。</p>	<p>自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上</p>
---	----------------------------------	---	-----------------------------------

④情報発信

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.ホームページ維持管理	<p>石狩浜の自然について、遠隔地に向けた普及啓発を目的に、ネットワークを活用した情報発信。</p>	<p>海浜植物の開花や、保護センターでの出来事を小まめに発信し、興味を持ってもらう。</p>	<p>・調査写真や、観察園の開花情報などを随時ホームページにて更新（目安として月に1度）</p>
2.情報誌の発行			
3.近隣施設での情報案内	<p>また、市民の自主的な石狩浜の保全活動につながる情報の発信、活動の展開を図る。</p>	<p>外部ネットワークへの可能な範囲内で事業協力の。 自主活動への広報等の支援の実施。</p>	<p>他団体の主催イベントに参加</p>
4.CISEネットワーク・館ネットワーク・その他団体主催事業への協力・出展	<p>石狩市外を中心に、石狩浜及び保護センターについて積極的なPR。自主的な活動が円滑に進むための広報等を支援する。</p>		

CISEネットワーク...札幌近郊の自然史系博物館や動物園・図書館などの社会教育施設と大学などの研究機関が連携したネットワーク
 館ネットワーク...石狩市民図書館・公民館・いしかり砂丘の風資料館・石狩浜海浜植物保護センターの4館が合わさって、得意分野の違う4つの施設が、よりよい学習機会・情報の提供等を通してまちづくりを進めていくことを目的とし、地域資源のネットワーク化を図ります。



事業方針

事業概要

環境基本計画方針

I	<p>情報・学び・体験の場として 施設機能の充実</p>	<p>【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。</p>	<p>自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上</p>
---	----------------------------------	--	-----------------------------------

⑤調査研究の発信

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
<p>調査研究報告、 学習報告等の掲示</p>	<p>石狩浜の自然や保全について、最前線で活動する専門分野の情報を科学的な視点から発信するほか、保護センターを利用した教育機関からの学習成果等の掲示など、保護センター職員以外の視点から石狩浜の活動を発信する。</p>	<p>年間1～2団体から、石狩浜に関する研究情報や、環境学習での学習成果を掲示する。</p>	<p>・研究機関及び、教育機関に事前調整</p>

	事業方針	事業概要	環境基本計画方針
I	情報・学び・体験の場として 施設機能の充実	【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。	自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上

⑥来館者のニーズ、意識把握

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
アンケートの実施	来館者からの意見を聞く機会の創出。	来館されたお客様の率直なご意見を伺い、運営の参考にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内にアンケートの設置 ・オンラインのアンケートも要検討 ・イベント時におけるアンケートの実施

事業方針	事業概要	環境基本計画方針
Ⅱ データに基づく保全対策	【調査・研究・保全事業】 情報発信・体験学習・観察園・再生園の整備に必要な自然情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。	生物多様性の保全

①現植生・生物相の把握

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
石狩浜モニタリング調査	石狩浜の植生遷移や変化を把握、観察園における植生管理の基礎データ等を目的に長期的なデータの蓄積を図る。	【植物】	
		令和4度に選定した見本植生区(12か所18区)の部分的なモニタリングと、新たに2か所4区(はまなすの丘公園内ハマナス群落と半安定帯の植生)の植生調査を行う。 ★	・現地調査 (7-8月を予定)
	石狩浜で生息の動向に注目したほうが良い動物を選定し、選定種の生息状況をモニタリングする。選定種の生息状況が危ぶまれる際には、保全手法の検討できる情報になるようにデータを蓄積する。	【動物】	
		選定種の選定と、その種の生息地マッピング及び、自動撮影カメラの設置による生息動物の確認。	生息地マッピング及び、自動撮影カメラの設置による生息動物の確認。★

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

II	データに基づく保全対策	<p>【調査・研究・保全事業】 情報発信・体験学習・観察園・再生園の整備に必要な自然情報の収集、 収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。</p>	生物多様性の保全
----	-------------	---	----------

②植生管理に係る手法の検討・検証

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1. 聚富海岸植生再生試験・モニタリング調査協力	海浜植生の再生手法の検討(主催:道総研)	道総研との連携協力。★	植生調査の実施等
2. 海浜植生の維持管理手法の検証(海岸草原保全手法の検討)	自生地の植生を参考として、海浜植生の効率的な維持管理につなげ、保全・管理に関わる知見や技術を蓄積する。	観察園:再現区において、前年度に選定した見本植生へ種組成を近づける。 ハマナス再生園:残存区・自然増殖区は、自生地に近いハマナス群落に種組成を維持する。移植区においては、ハマナス自生地の種組成に近づける。★	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の育成、移植後のモニタリング ・自生地にない種の除去 ・自生地で混生する種の移植 ・ハマナスの樹勢維持のための剪定



事業方針

事業概要

環境基本計画方針

Ⅱ データに基づく保全対策

【調査・研究・保全事業】
 情報発信・体験学習・観察園・再生園の整備に必要な自然情報の収集、
 収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。

生物多様性の保全

③希少種

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.希少種イソスミレの生育状況の把握	希少種イソスミレの生息地について、地理情報及び植生構成を押さえ、環境変化に左右されやすいイソスミレの保全対策に繋げる。	イソスミレの分布と、個体群構成調査、周囲の植生調査の継続。★	・分布、個体群調査(5月) ・周囲の植生調査(8～9月)
2.ハマボウフウの生育状況と採取の影響把握	保護地区内外のハマボウフウの生育状況の比較と継続的な採取圧による生育への影響を把握し、今後の自然ふれあい地区におけるハマボウフウの科学的データに基づいた持続可能な資源利用への根拠データに資する。	春先の採取による切除が生育に及ぼす影響の把握。 保護地区内外における生育状況調査の継続。★	・採取後の生育状況調査(5・7月) ・生育状況調査(8～9月)

④外来種

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
生育状況把握、 範囲・手法の検討、 対策実施	石狩浜の環境保護のために、外来種の早期発見と、影響を及ぼす種の防除を実施する。	他機関との連携した情報の共有と、モニタリング調査のデータから新しい情報の収集、必要に応じた対策を実施する。★	・現地調査から必要に応じた対策

	事業方針	事業概要	環境基本計画方針
Ⅱ	データに基づく保全対策	【調査・研究・保全事業】 情報発信・体験学習・観察園・再生園の整備に必要な自然情報の収集、 収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。	生物多様性の保全

⑤資料・データの集約・管理

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1. 標本の管理	地域資料の保管と、保全を進めるための情報の収集と管理をする。	適切な環境で保存されるように、日常的な点検をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・標本の定期点検 ・調査報告書の作成、関係機関報告書の収集など
2. 自然情報の収集・管理	環境調査、モニタリング、その他石狩浜に関わる調査研究の報告書などのデータを一括管理し、保全及び情報発信のデータベースとして構築する。	収集データについて、まとめて公開できる体制を検討する。★	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩市所有データと合わせた整理

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

Ⅲ	自然資源の適正管理と適正利用	<p>【自然資源の保全・活用】 海浜植物等保護地区における海浜植物や地形の状況把握、過度なレジャー利用に対する注意喚起、本来の保護地区としての利活用に関する維持管理、事業の実施。</p>	<p>自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上</p>
---	----------------	---	-----------------------------------

①保護地区の利用状況把握・監視・維持管理

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.車両侵入の有無、誘導ロープ等の設置・修繕	<p>条例に基づいた海浜植物等保護地区の海浜植物等を保全するための維持管理をする。</p>	<p>監視員の情報をもとに現状を把握し、必要に応じた対策を都度実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・監視員の配置 ・現状の保護地区の監視、車両侵入への対応、ロープの補修等を実施 ・一部柵の維持管理(植生柵維持管理業務委託) ・管理者との情報共有
2.単管柵の維持管理			

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

Ⅲ	自然資源の適正管理と適正利用	【自然資源の保全・活用】 海浜植物等保護地区における海浜植物や地形の状況把握、過度なレジャー利用に対する注意喚起、本来の保護地区としての利活用に関する維持管理、事業の実施。	自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上
---	----------------	--	---------------------------

②景観保全による観光資源利用

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
はまなすの丘公園木道 周辺の植生維持管理	公園(観光地)としての景観保全	目指す自然の景観について専門家を交えた方針の決定。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光関係部署への連絡調整 ・関係者間での内陸性植物及び外来種の除去作業の試行

③ふれあい地区のルールของ普及啓発

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
ハマボウフウの 生育状況調査と連動した 参加型普及啓発調査	ふれあい地区の本来の意味である自然とのふれあいを通じた海浜植物等の保護を目指すために、保護地区の持続的な活用を目指した企画の開催と継続。	小学生の親子を対象に、保護地区の歩み、ハマボウフウを通じた海浜植物の特徴を体験から学んでもらう。★	・ハマボウフウ調査と普及啓発を兼ねたイベントの実施(4月下旬～5月上旬に実施)

事業方針	事業概要	環境基本計画方針
IV 石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくり	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、自然とのふれあいの創出や、多様な主体が保全に関わる基盤の構築。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上 様々な主体との連携・協働

①環境学習

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.事前学習の補助 2.ワークシート・体験プログラムの構築	石狩浜の海浜植物をはじめとした、石狩浜の自然について知る機会の創出を目的に、取り組みやすい仕組みづくりと実施をアクティブラーニングを主体として進める。	令和4年度で検討した時間・目的・季節別のプログラムについて実施し、検証する。★	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習の実施 ・実施内容の検証 ・夏休み期間における海浜植物を活用した自由研究課題の発信 ・環境学習時の補助的な展示について作成を検討する

事業方針	事業概要	環境基本計画方針
IV 石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくり	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、自然とのふれあいの創出や、多様な主体が保全に関わる基盤の構築。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上 様々な主体との連携・協働

②ハマナスを活用した普及啓発

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
ハマナスを活用した普及啓発	ハマナス再生園の持続的な活用を続けることで、石狩浜のPRと自然環境保全の普及啓発を推進する。	石狩浜ハマナス再生プロジェクト協議会等と協力した、イベント開催やハマナスを利用した商品等を通じた普及啓発を進める。★	<p>はまなすフェスティバルの共催</p> <p>体験型ツアー等での利用にかかる対応</p> <p>ハマナスの花弁・果実の採取管理</p>

石狩浜ハマナス再生プロジェクトとは？

ハマナスの咲く石狩浜の風景を未来に残し、ハマナスをシンボルに自然と共生する地域づくりを目指すプロジェクト。市民、事業者、石狩市が連携して、「ハマナス再生園」の整備に取り組み、イベントの実施やハマナスの商品づくりを通じて石狩浜との地域の魅力を発信する。

5. 石狩浜海浜植物保護センター運営体制

